

● 緊急アンケート結果分析 ●

～平成22年 大学入試～

『(一般入試)新型インフル特例措置に関するアンケート』

**国公立大 80%以上が「追試」予定
私立大 他日程への「振替」が多数派**

教育出版の株式会社旺文社(本社:東京都新宿区、代表取締役 赤尾文夫) 教育情報センター※は、全国321校の国公立大を対象に、それぞれの一般入試に関してどのような特例措置を考えているかを問う、「平成22年大学入試 新型インフル特例措置に関するアンケート調査」を実施いたしました。

※教育情報センターとは

旺文社における教育情報の発信ステーションです。主に大学入試、高校・大学教育、教育行政などの情報を収集・分析・発信しています。これらの情報は、78年の歴史をもつ大学進学情報誌『螢雪時代』や、Webサイト『大学受験パスナビ』(<http://passnavi.evidus.com/>)に掲載。『パスナビ』では高校教員をはじめ、教育関係者向けの情報ページ『パスナビ for Teachers』(<http://passnavi.evidus.com/teachers/>)も展開しています。

■ アンケート実施の背景

新型インフルエンザは、平成21年5月に国内初の感染者が確認され、秋以降急速に感染が拡大しました。これを受けて文部科学省は、10月8日に入試実施のガイドライン「平成22年度大学入学者選抜に係る新型インフルエンザ対応方針」を発表し、全国の国公立大学長宛てに通知しました。各大学ではこれを参考に特例措置を決定、あるいは検討しています。

これまで、阪神・淡路大震災の年など、特別な措置が講じられた入試はありましたが、国公立を問わず、ここまで全国規模で特例措置が講じられるのは初めてのことです。

そこで、旺文社 教育情報センターでは、全国の国公立大321校を対象に、一般入試における特例措置(私立大はセンター試験利用方式で個別試験を課すものも含む)に関する緊急アンケートを昨年末に実施いたしました。各大学からの回答を通して、「感染拡大の防止」「受験機会の確保」「公平性の確保」、そして時間的・費用的・人的等さまざまな「実現可能性」という4つのキーワードで苦慮する大学の実像が浮かび上がってきました。

【結果概要】

- 国公立大は80%以上が「追試」を実施予定。実施予定日は本試験のおおむね1週間後。
- 私立大は他日程への「振替」が45%で多数派。
大規模校は首都圏・東海地区では「一括追試」、関西地区では「検定料返還」の傾向。
最終日程は「検定料返還」または「措置を講じない」が75%。
- 特例措置の申請対象は、国立大の大多数で「新型インフル」。
公私立大では「新型&季節性インフル」あるいは「インフルを含む感染症」も。
- 大学への申請方法は、多くの大学で「電話連絡」と「診断書等の提出」が必要。
- 本試験で地方試験会場を開設する私立大では、ほぼすべてが追試を「本学のみ」で実施。

■ 調査概要

(1) 調査対象

全国の 321 大学(全国立大 82 校、全公立大 76 校、私立大 163 校)

※私立大は、平成 21 年一般入試における志願者数が上位 150 位以内の大学+医学部のある大学。

また同一大学であっても事務局が分かれているなど、独自対応が予想される医学部を中心に、複数アンケートを送付した大学を含む。(私立 4 大学 5 学部/便宜上それぞれ 1 大学として集計)。

(2) 調査期間

平成 21 年 11 月末～12 月中旬

※アンケート実施後に措置の内容を変更している大学がある可能性もあります。

(3) 調査方法

FAXにて回答

(4) 回収状況

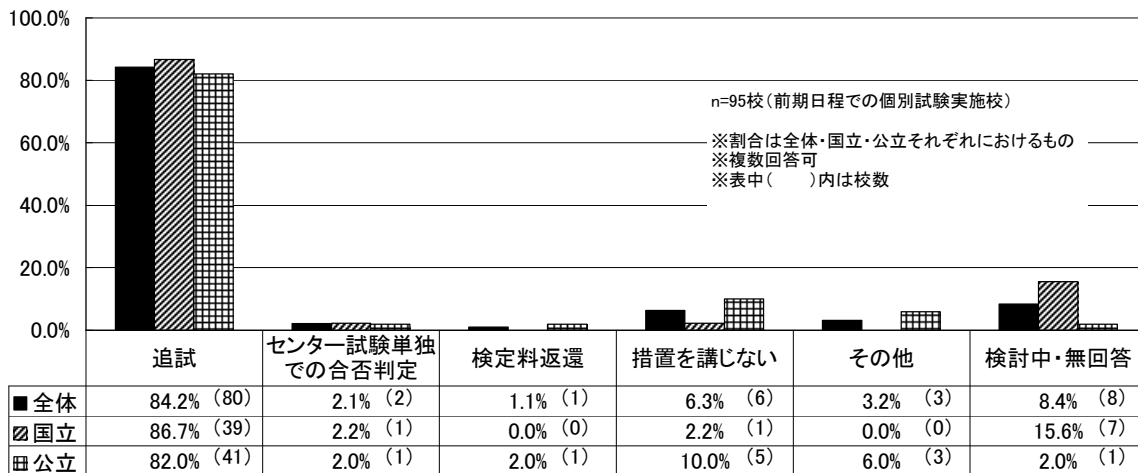
調査対象	配布数	回収数	回収率
① 国公立大	158	112	70.9%
② 私立大	163	130	79.8%

■ 「新型インフル特例措置に関するアンケート」結果（抜粋）

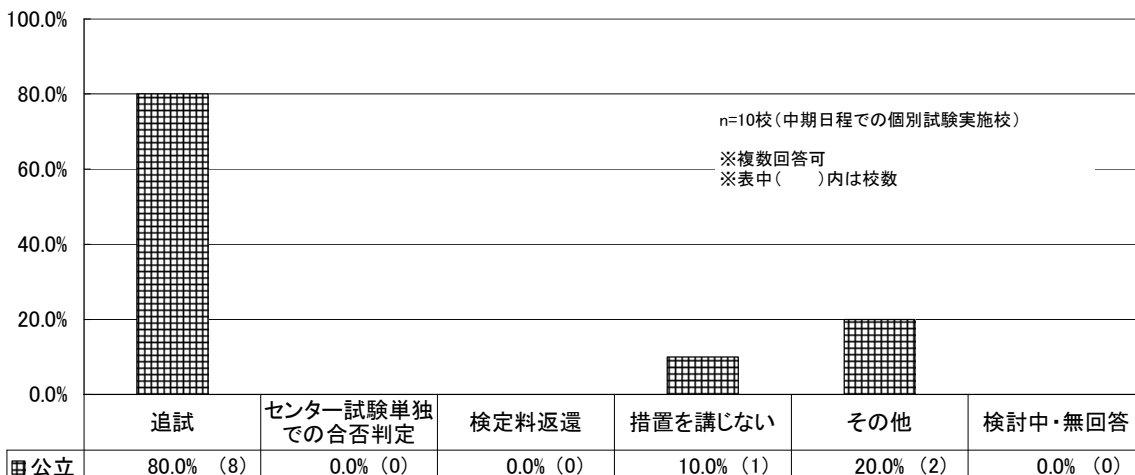
1. 《国公立大》特例措置の具体的内容

国公立大は 80%以上が「追試」を実施予定。実施予定日は本試験のおおむね 1 週間後。

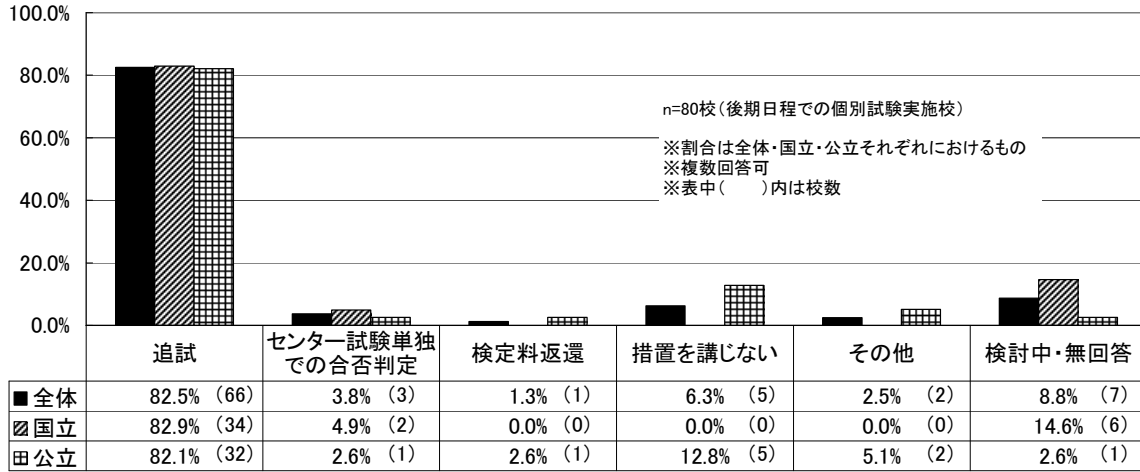
国公立大 前期日程 特例措置内容



公立大 中期日程 特例措置内容



国公立大 後期日程 特例措置内容

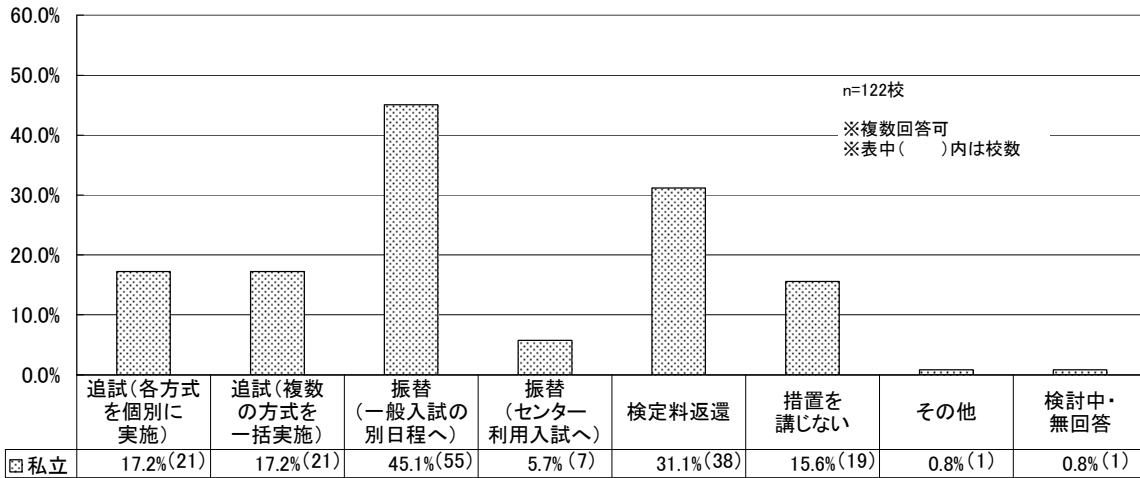


2. 《私立大》特例措置の具体的内容

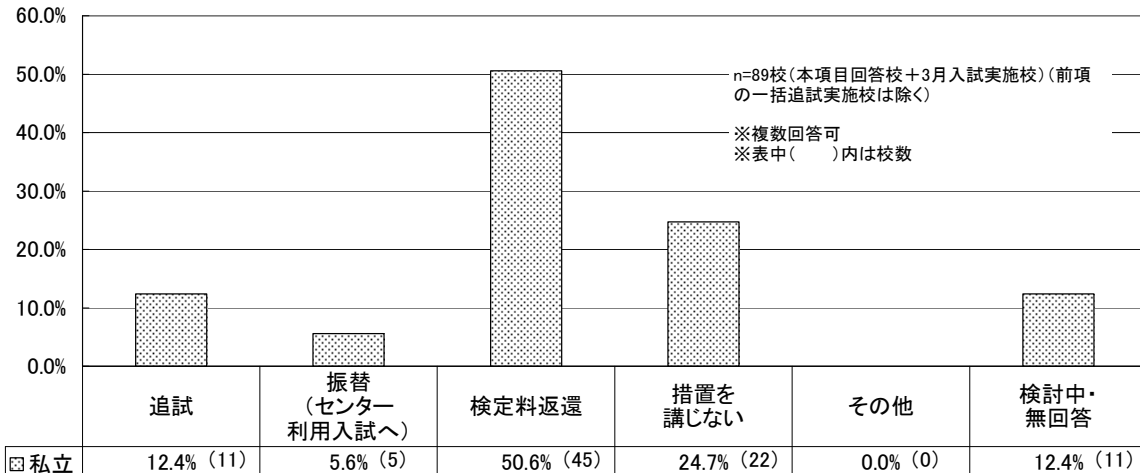
私立大は他日程への「振替」が45%で多数派。

※3月入試や後期募集などの最終日程は、日程的に追試や振替などの措置が取りづらいことが予想されたため、アンケートは「最終日程以外」と「最終日程」に分けて実施。

私立大 最終日程以外 特例措置内容



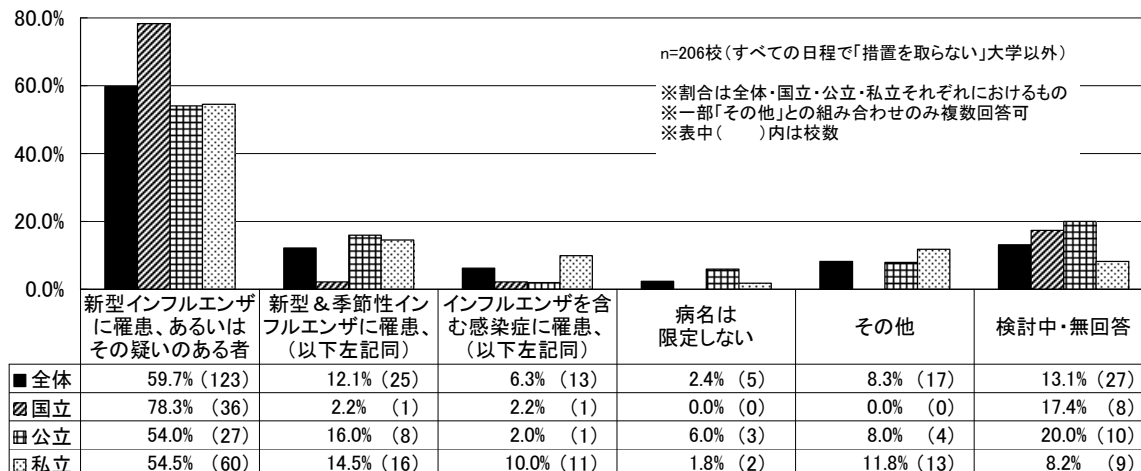
私立大 最終日程 特例措置内容



3. 特例措置の申請対象

特例措置の申請対象は、国立大の大多数で「新型インフル」。
 公私立大では「新型 & 季節性インフル」あるいは「インフルを含む感染症」も。

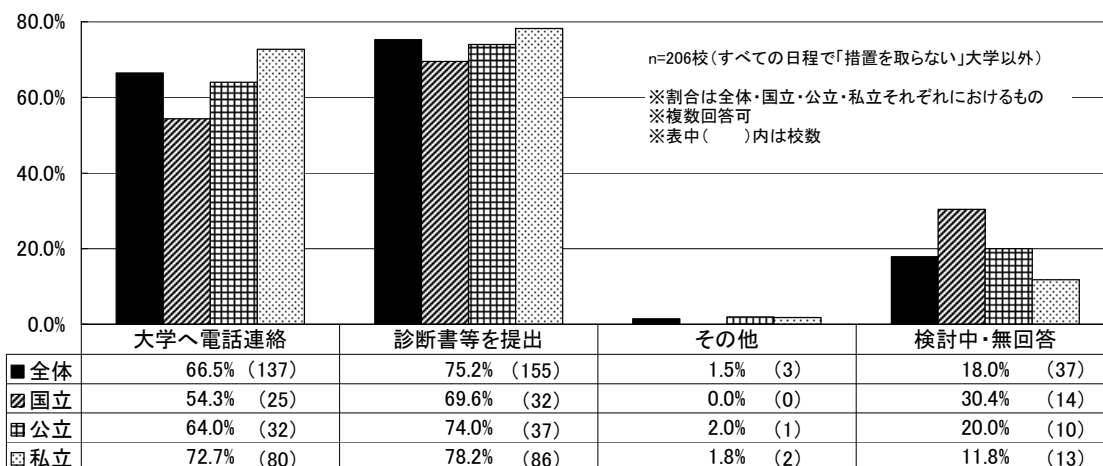
特例措置の申請対象



4. 大学への申請方法

大学への申請方法は、多くの大学で「電話連絡」と「診断書等の提出」が必要。

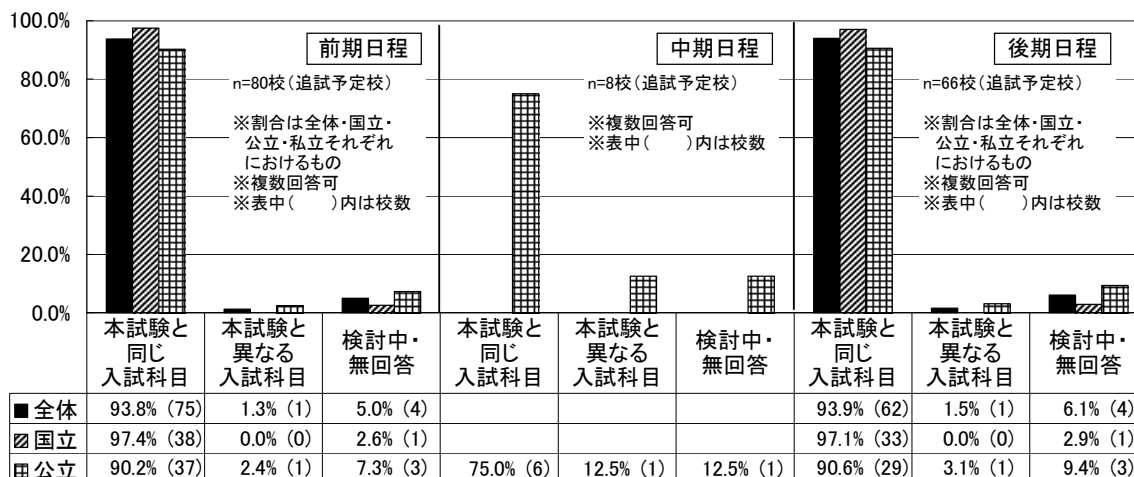
大学への申請方法



5. 《国公立大》追試の場合の入試科目

追試の場合の入試科目は、国公立大の前・後期日程では 90%以上が本試験と同様。

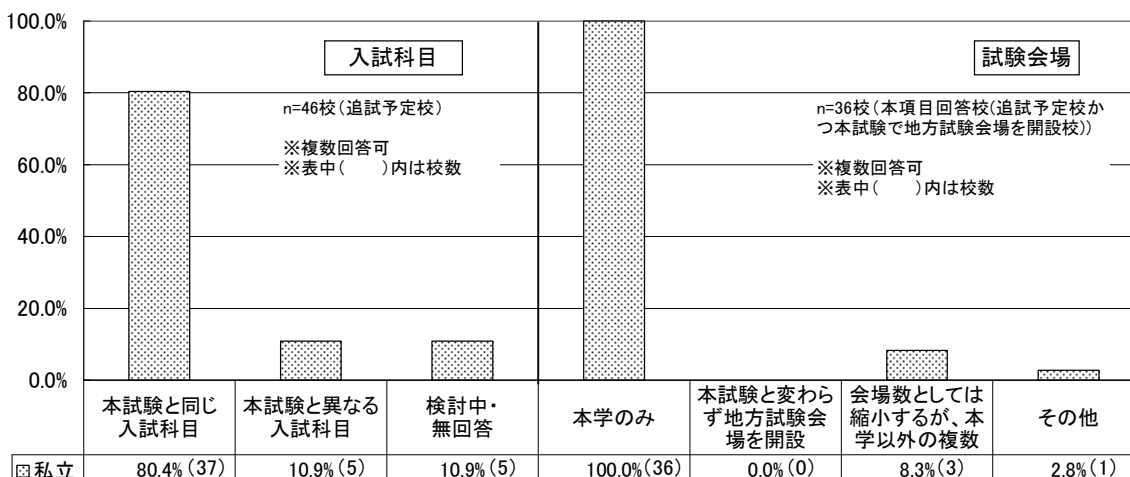
国公立大 追試 入試科目



6. 《私立大》追試の場合の入試科目・試験会場

本試験で地方試験会場を開設する私立大では、ほぼすべてが追試を「本学のみ」で実施。

私立大 追試 入試科目・試験会場



以上

◆アンケートの詳しい内容は、以下の URL よりダウンロードしてご確認いただけます。(全 12 ページ)

<http://passnavi.evidus.com/teachers/topics/1001/0101.pdf>

◆大学受験パスナビ <http://passnavi.evidus.com/> からご覧になれます。

<記事タイトル>

▶ ●全国大学緊急アンケート● 22 年入試 新型インフルエンザ「特例措置」(10/17)



【会社概要】

社 名： 株式会社 旺文社
 代 表 者： 代表取締役 赤尾 文夫
 設 立： 1931年10月1日
 本 社： 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 TEL : 03-3266-6400
 事業内容： 教育・情報をメインとした総合出版と事業
 U R L : <http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当：山縣(ヤマガタ)・三澤(ミサワ)
 TEL:03-3266-6495 FAX:03-3266-6849 E-mail : pr@obunsha.co.jp